

ミニディスクロージャー誌 2020年3月期

たかしんレポート





ごあいさつ

皆さま方には、平素より高岡信用金庫に対しまして格別のご愛顧お引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この小冊子は、当金庫の経営方針・最近の業績・取り組み等をお伝えし、当金庫へのご理解をより一層深めていただくために作成いたしました。

当金庫は大正12年(1923年)に創業し、一貫して金融業務を通して「地域社会の繁栄に貢献すること」を目的に、協同組織の地域金融機関として歩み続けてまいりました。

『いつもこの街とこれからもこの街と』というキャッチフレーズには、「地域の皆さまに感謝し、ともに新しい未来へと進んでいきたい」との当金庫の思いが込められています。これからも一層地域の皆さま方のお役に立てるよう努力していく所存でございます。

さて、2020年度の国内経済は、当面、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれます。また、感染症拡大が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意し、金融資本市場の動向を注視していくことが必要です。

当金庫は、新3カ年計画の目標として「ビジネスモデル実現のための確固たる経営体力の維持」を掲げ、「経営体力の維持・強化」「コンサルティング機能・お客様支援の強化」「働き方の改革」を主要経営課題としましたが、当面は感染症拡大への対応に注力し、この厳しい状況を乗り切るべく、役職員一同全力を尽くす所存です。

皆さま方には何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



理事長 吉岡 周

当金庫の基本方針

- 一、当金庫は広く地域社会の繁栄に貢献することを目的とする。
- 一、当金庫の役職員は和協一体目的達成に努力する。

当金庫の経営方針

2019年度は、3ヵ年計画の最終年度として、「役務収益の増強」、「貸出金利息の維持と貸出顧客の増加」及び「既存業務の徹底的な見直しと効率化による人材と営業時間の捻出」に重点的に取り組み、当金庫のビジネスモデルである「アクティブ・リレーションシップ・バンキング」の実現に向け、注力してまいりました。

【3ヵ年計画経営方針】

「地域経済の成長に貢献」

「職場実践力の向上」

シンボルマーク



地域の繁栄を支える力になりたいという私たちの思いをシンボルマークに込めました。

咲き誇るサクラの花は地域の皆様を象徴し、それを守り育てるように大きく腕を広げた人は、**たかしん**の頭文字である「T」のかたちでもあります。

体と腕のラインで上へ向かう曲線を描き、一緒に明るい未来へ発展していくイメージとしました。



Profile (2020年3月末現在)

- 創業：大正12年3月16日
- 本店所在地：高岡市守山町68番地
- 出資金：335百万円
- 会員数：22,850人
- 預金残高：3,735億円
- 貸出金残高：1,720億円
- 常勤役職員数：330人
- 店舗数：23店舗

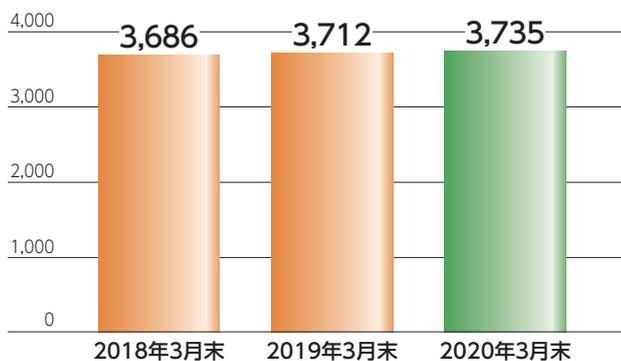
2019年度の業績について

預金積金・貸出金について

預金積金は前期比22億円増加し、期末残高は3,735億円となりました。また、貸出金は55億円増加し、期末残高は1,720億円となりました。

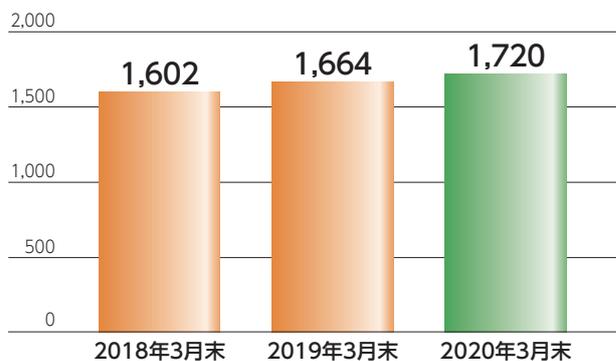
預金積金残高

(単位：億円)



貸出金残高

(単位：億円)

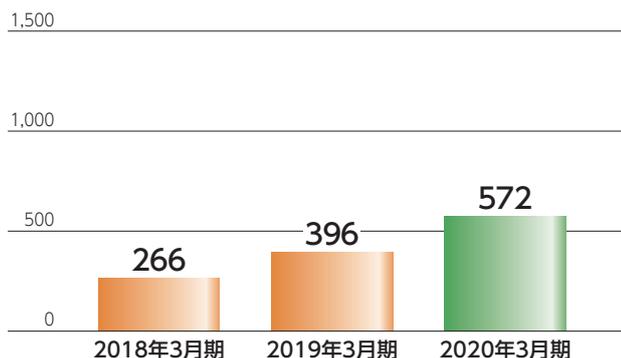


コア業務純益・当期純利益について

損益面では、有価証券利息配当金の増加を主因に資金運用収支が前期比35百万円増加し、また役員取引等収支が前期比45百万円増加、経費が前期比99百万円減少したことから、本業のもうけを示すコア業務純益は前期比176百万円増益し572百万円となりました。当期純利益は、前期比282百万円増益の886百万円となりました。

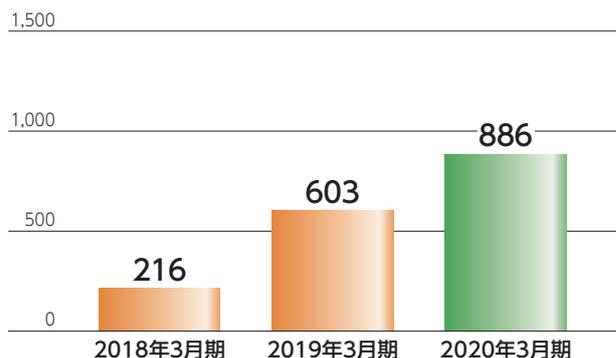
コア業務純益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



自己資本比率について

当金庫の2020年3月末の自己資本比率は11.94%となっており、国内基準の4%を大きく上回っております。

今後も皆さま方からの信頼にお応えできますように、より一層強靱な経営体力・体質を構築するため精励いたします。

(自己資本比率とは、リスクアセットに対して、出資金・利益剰余金などの自己資本がどれくらいあるのかを示す指標で、金融機関の「健全性」を表すために最も広く用いられている指標です。)

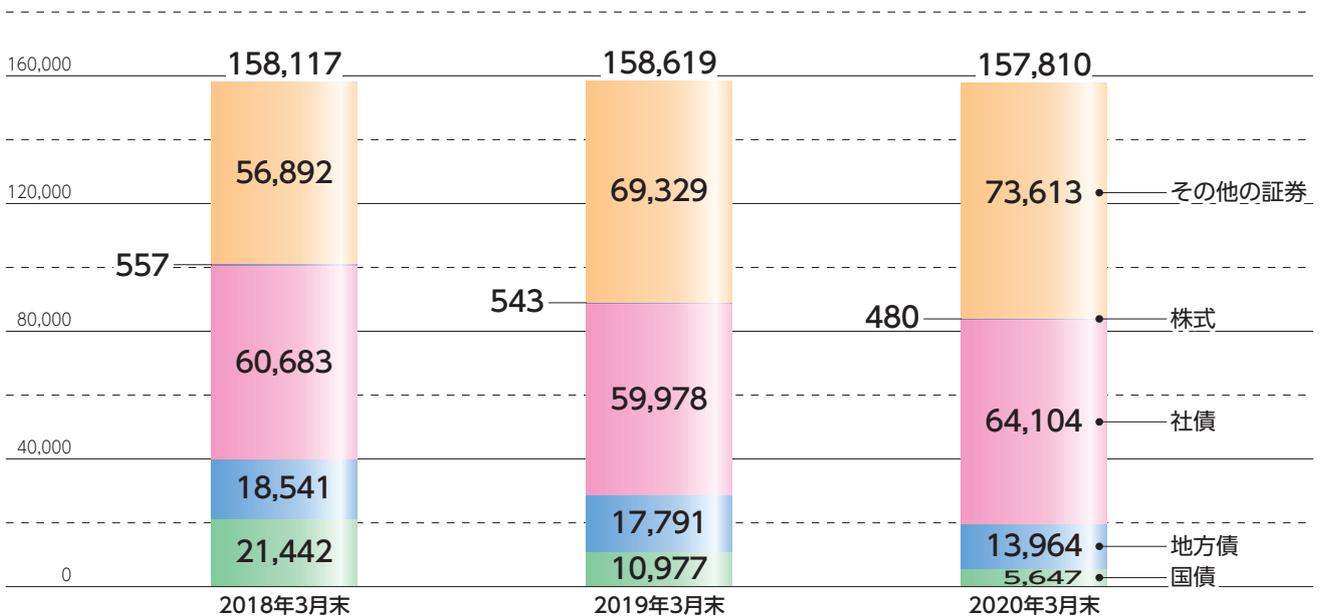
リスクアセット…貸出金や有価証券などのリスクを有する資産を、リスクの大きさに応じて掛目を乗じて再評価した資産金額。



有価証券について

国債や上場企業の発行する債券を中心として資金運用を行っており、リスクを適切にコントロールすべく庫内ルールを設定し運用にあっております。

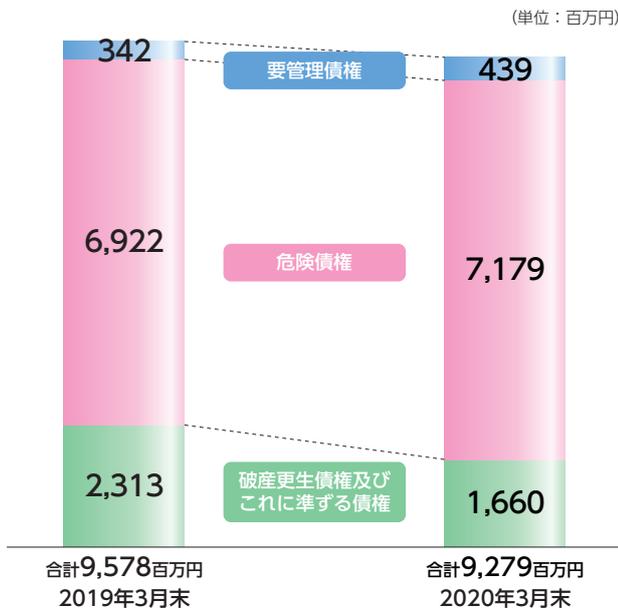
(単位：百万円)



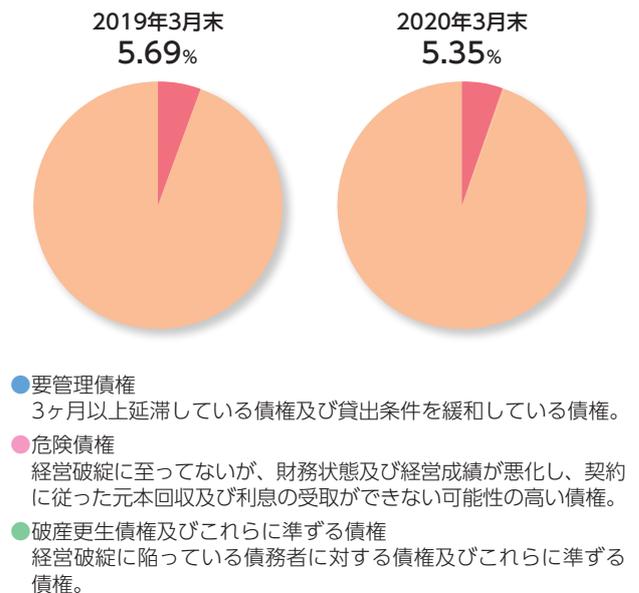
不良債権の状況について

当金庫は、ご融資先に対して経営改善支援を行うなど、貸付債権不良化の未然防止に努めており、また、不良債権処理も適切に進めております。2020年3月末現在、金融再生法に基づく不良債権合計額は、9,279百万円となりました。このうち92.69%は担保や引当金によって保全されています。

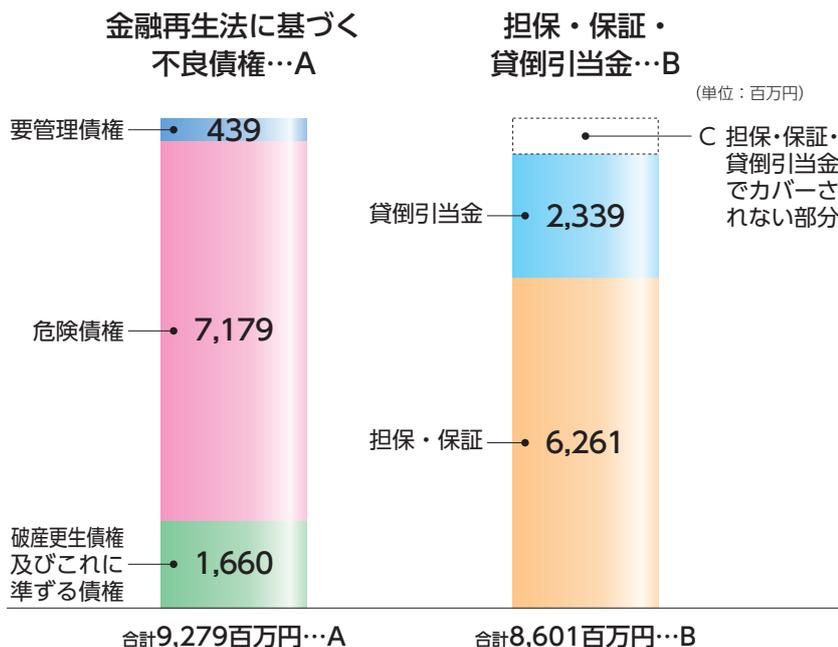
金融再生法に基づく不良債権額の推移



貸出金等に占める金融再生法に基づく不良債権合計額の割合



不良債権に対する備えについて



ご安心ください

金融再生法に基づく開示債権のうち担保・保証・貸倒引当金でカバーされない部分(左図C)が678百万円ありますが、純資産の総額が**226億30百万円**ありますので、備えは万全です。

トピックス

◆新本店が2018年度「北陸建築文化賞」を受賞いたしました



2019年7月6日に、ウィング・ウィング高岡にて開催された2018年度「北陸建築文化賞」表彰式にて表彰状を受け取る吉岡理事長

◆高峰譲吉博士ゆかりの「松楓殿 松楓の間」再現展示オープン



高峰譲吉博士ゆかりの「松楓殿 松楓の間」再現展示オープニングセレモニーが、2020年3月27日に高岡商工ビルにて開催されました。博士生誕の地に「たかしん高峰記念館」を開設している当金庫は、博士の顕彰プロジェクトに事業協力いたしました。

◆たかしん年金友の会旅行



出雲大社

2019年10月17日

2019年度のあゆみ

4月	17日 「たかしん次世代リーダーの会『KI・ZU・NA』」の第4回総会が開催され、お取引先様の若手経営者や後継者の皆さまが交流いたしました。
5月	19日 第7回「高岡ねがいみち駅伝」に職員3チーム、18名がランナーとして出走し、高岡の街を駆け抜けました。
6月	14日 第96回通常総代会を開催し、第97期決算内容の報告、剰余金処分案承認の件、定款第15条に基づく会員除名の件、会員資格に係る定款一部変更の件、店舗統合に伴う定款一部変更の件が決議されました。
7月	6日 新本店が、2018年度「北陸建築文化賞」を受賞いたしました。 8日 地元から「たかしん」の愛称で親しまれる全国の5信用金庫（高岡、高崎、高山、高松、高鍋）で結成する「たかしん5（ファイブ）」が「第4回たかしんサミット」を開催いたしました。
9月	1日 「たかしん おもしろ年金セミナー」を開催し、年金受給予定者40名の方に、年金の仕組みや手続きを学んでいただきました。
10月	1日 昭和46年の開設以降47年が経過している昭和支店を、お客さまがゆっくりくつろげる雰囲気的空間へと改修し、リニューアルオープンいたしました。 9日～25日 「たかしん年金友の会旅行」を「日本全国の神々が集まる神在月。令和元年に訪れる出雲大社と名湯の旅」にて実施いたしました。今回は1班（10月9日～11日）、2班（10月16日～18日）、3班（10月23日～25日）に分かれて、第10回記念旅行として74名のご参加をいただきました。 10日 当金庫のお客さま約330名にお集まりいただき、「たかしん講演会」を開催いたしました。ジャーナリストの長谷川幸洋氏を講師に招き、「激動の日本経済、これからどうなる？」と題してご講演いただきました。 15日 役員職員44名が本部棟にて献血を行いました。
11月	1日 当金庫吉岡理事長が「高岡商工会議所副会頭」に就任いたしました。 2日 「第16回 対応・セールスロールプレイング大会」を富山大学芸術学部大講堂にて開催いたしました。 15日 長年にわたり地域皆さまのご支援を賜り営業を続けてきた、「西部支店」と「江尻出張所」をそれぞれ「昭和支店」と「広小路支店」へ店舗統合いたしました。
2020年2月	1日 屋内での喫煙を全面禁止とする「受動喫煙防止宣言」をいたしました。 26日 お取引先様の販路ご支援の一環として、当金庫主催による「たかしん商談会2020」を本店大会議室にて開催し、112件の商談がありました。
3月	27日 高峰譲吉博士ゆかりの「松楓殿 松楓の間」の再現展示オープニングセレモニーが開催されました。博士生誕の地に「たかしん高峰記念館」を開設している当金庫は、博士の顕彰プロジェクトに事業協力いたしました。 31日 「高岡信用金庫SDGs宣言」を公表いたしました。

